

経営比較分析表（令和6年度決算）

宮城県 綾町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家産料金(円)	
-	20.94	96.04	2,460	

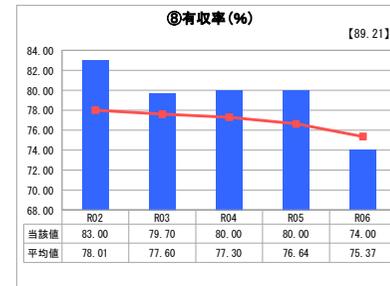
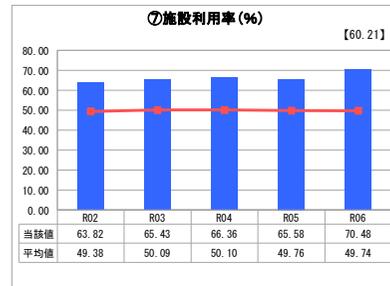
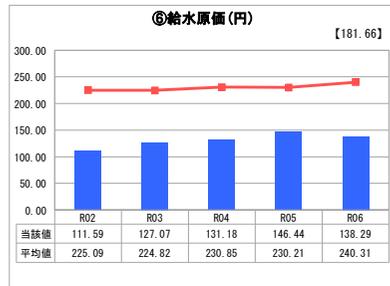
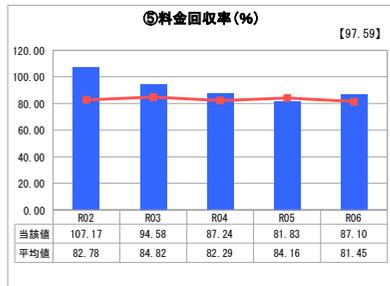
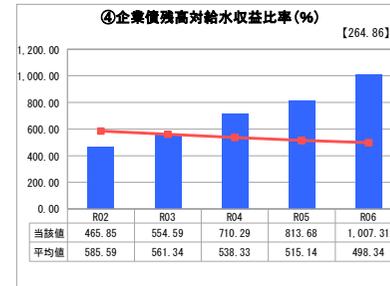
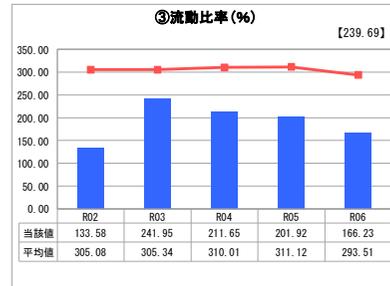
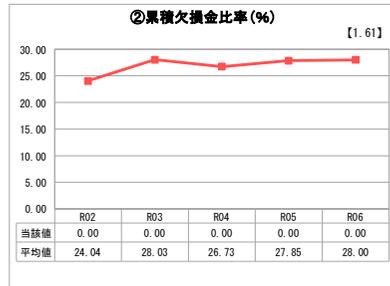
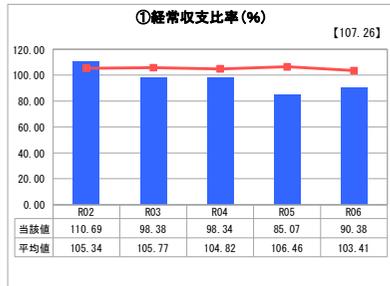
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,785	95.19	71.28
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
6,456	12.30	524.88

グラフ凡例

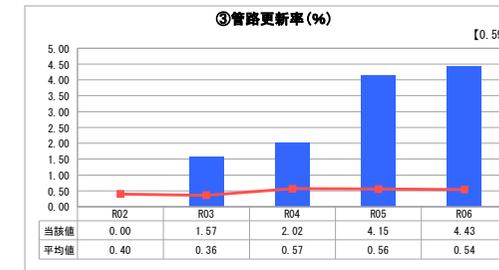
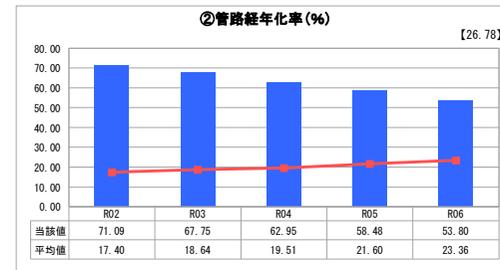
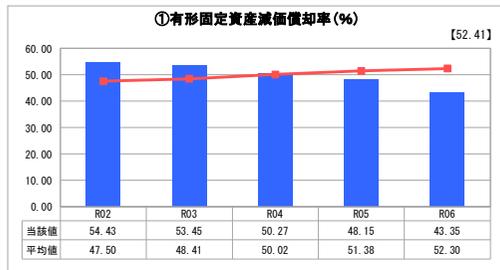
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
給水収益については前年度と同程度であり、経常費用については管路更新に伴う減価償却費の増加、人件費の単価引き上げ、物価高騰の影響があったが、経営努力による経費の削減を実施したため経常収支比率は前年度から約6%向上した。

② 流動比率
100%を超えているものの、類似団体平均を下回っている状況。

③ 企業債務高対給水収益比率
管路の更新による企業債務高の増加に伴い比率が上昇している。計画的な施設更新に加え料金改定による経営の安定化を図る。

④ 料金回収率
物価高騰による諸経費の増加に加え、施設更新に伴う原価償却費の増加があるが、経営努力による経費の削減を実施し前年度に対して料金回収率の改善が図られた。

⑤ 給水原価
施設の老朽化に伴う修繕費の増加や、施設更新に伴う減価償却費の増加により給水原価は年々増加傾向となっていたが、経営努力による経費の削減により昨年度に比べ減少した。

⑥ 施設利用率
類似団体と比較し、施設利用率は高く、適正規模を維持している。

⑦ 有収率
漏水の増加に伴い有収率は低下している。計画的な管路の更新が必要。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産原価償却率
耐用年数の経過した施設の更新を実施した事により償却率は低下している。

② 管路経年化率
耐用年数を超えた管路の割合が非常に高く、耐震化を基本とした管路の更新が急務となっている。

全体総括

本町水道事業は昭和48年の供用開始から52年が経過しており、管路経年化率は53%と高く、耐震化と併せた管路・施設の更新の必要性が非常に高くなっている。

累積欠損金の発生を回避するため令和7年度から毎年度、段階的な料金引き上げを5年間実施することとしているが、今後の施設の更新需要を補完する料金水準には至らないため、令和12年度に再度料金改定を実施することとしている。